

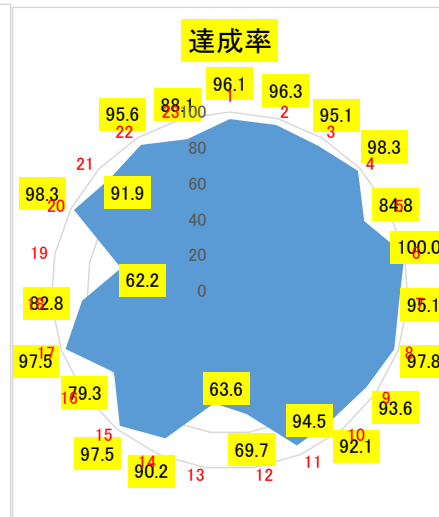
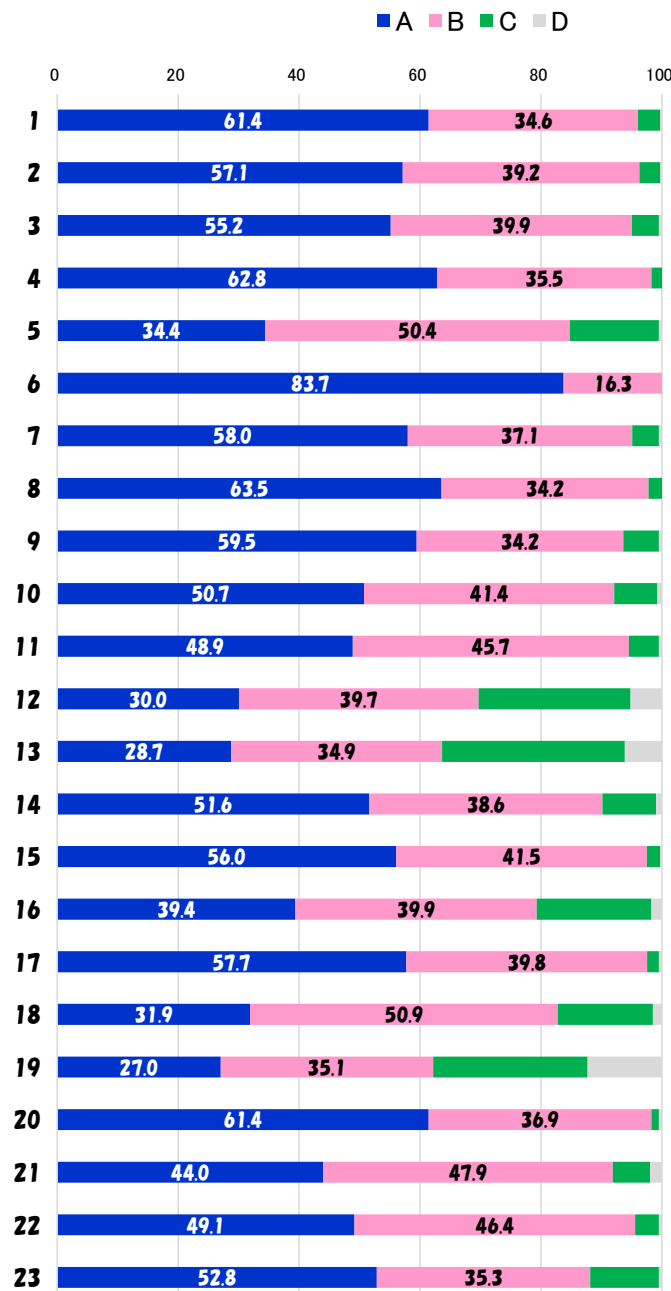
# 保護者アンケート（後期）

回答数

407

番号	アンケート質問内容	A=B=C=D				達成率	前期
		A	B	C	D		
1	我が子は、楽しく学校生活を送っている。	61.4	34.6	3.7	0.2	96.1	95.1
2	学校は、思いやりの心や周囲と仲よくしようとする態度を育てようとしている。	57.1	39.2	3.4	0.2	96.3	94.6
3	学校は、下級生の面倒を見たり、上級生に学んだりするように教えている。	55.2	39.9	4.4	0.5	95.1	94.8
4	学校は、ルールやまじりの大切さを考えさせ、規律正しくできるように教えている。	62.8	35.5	1.7	0.0	98.3	97.9
5	我が子は、あいさつができています。（あいさつ）	34.4	50.4	14.7	0.5	84.8	83.0
6	我が子は、良いところがあると思う。	83.7	16.3	0.0	0.0	100.0	100.0
7	塩川小学校は、さわやかですてきな校風の学校である。	58.0	37.1	4.4	0.5	95.1	95.1
8	学校は、住んでいる地域を愛するように教えている。	63.5	34.2	2.2	0.0	97.8	96.4
9	学校は、子どものことについて相談できる体制を整備し、対応している。	59.5	34.2	5.9	0.5	93.6	90.2
10	学校は、わかりやすく勉強を教えている。（子どもは授業がわかると言っている）	50.7	41.4	7.1	0.7	92.1	91.2
11	学校は、考えや思いを伝え合える子を育てている。（伝え合い）	48.9	45.7	5.0	0.5	94.5	91.7
12	我が子は、家庭学習の習慣（10分×学年+10分）が身についている。	30.0	39.7	25.1	5.2	69.7	74.5
13	我が子は、読書に取り組んでいる。（家庭や学校で）	28.7	34.9	30.2	6.1	63.6	67.4
14	学校は、体力づくりに取り組んでいる。	51.6	38.6	8.8	1.0	90.2	92.2
15	学校は、目標やめあてを持って、最後までがんばることを教えている。（目標）	56.0	41.5	2.2	0.2	97.5	95.3
16	我が子は、将来の夢や目標を持っている。	39.4	39.9	19.0	1.7	79.3	82.9
17	学校は、安全で健康的な生活が送れるように教えている。	57.7	39.8	2.0	0.5	97.5	97.4
18	我が子は、食事や睡眠など規則正しい生活を送っている。（早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち）	31.9	50.9	15.7	1.5	82.8	85.0
19	我が子は、ゲーム、スマートフォンの終了時刻20:00の約束を守っている。	27.0	35.1	25.6	12.3	62.2	64.7
20	学校は、保護者会やお便り・教育ポータルサイト等で、学校の方針や様子を伝えている。	61.4	36.9	1.2	0.5	98.3	97.2
21	自分は、参観日などの学校行事やPTA活動などに参加している。	44.0	47.9	6.1	2.0	91.9	91.0
22	学校は、保護者や地域と連携・協働して子どもの教育にあたっている。	49.1	46.4	3.9	0.5	95.6	93.0
23	喜多方市人づくりの指針「児童生徒がめざす姿「なかよくたくましく生きる」を知っている。	52.8	35.3	11.4	0.5	88.1	80.3

## 令和5年度 保護者アンケート(後期)



### 分析

23項目中16項目が90%を超えており、学校に関する内容については、ほぼ高い評価をいただいている。特に相談体制や学習における伝え合い、そして喜多方市の人づくり指針については前期より大きくポイントが上がり、日頃の取組を成果として評価していただいたと言える。

それに対して7割を下回る項目は、  
 No.12 家庭学習の習慣(69.7%)  
 No.13 家庭での読書(63.6%)  
 No.19 家庭でのゲーム終了時刻(62.2%)  
 の3項目だが、児童の評価は  
 No.12 85.7% No.13 79.2%  
 No.19 71.7%

と保護者より高く、ずれがある。家庭での読書は、学校司書や図書委員会、図書担当が様々な取り組みを行っており、R3年度末の評価が59.8%だったことを考えると本を読む子は着実に増えていると思われる。

ゲームやテレビについては、メディアと学力、視力の低下など、メディアが脳に与える影響など、なぜゲームやメディアいけないのか、その理由とともに児童と家庭に呼びかけていく必要がある。

また、No.6「自己肯定感」は、保護者が100%の達成率に対して、児童は85%と大きく下回った反面、No.16「将来の夢」は児童が91.3%、保護者が79.3%と数値が逆転している。この傾向は昨年度も同様な結果が見られたが、コロナ禍が明け、学校の行事等も少しずつ復活してきているため、様々な成功体験を通して今後も自己肯定感を高めていく必要がある。